**２０２３年７月29日(土)　市民交流センター会場**

 筑紫磐井

 片蔭や骨董店に時計鳴り 村上鞆彦

 夏蝶は黄なり庵を去りがたく 坂東文子

 旱星牛のよだれの滞り 青木順子

 炎天の坂に坂継ぐ小諸かな 塩川　正

〇 鎌倉の目高の裔か虚子の甕 坂東文子

 村上鞆彦

 馘塚に触るる諸手の大暑かな 河西瓢一

 炎天の坂に坂継ぐ小諸かな 塩川　正

 片蔭の猫のつそりと立ち上がる 苫野とまや

 片陰ゆく烏揚羽の如き娘が 筑紫磐井

〇 外に出でて羊歯のまぶしき氷室かな 秋澤夏斗

 塩川　正

 蟷螂の武人のごとく鎌ふれり 中村みき子

 閂に閉ざす風穴青葉木菟 河西瓢一

 餌はあるか砂粒ほどの蜘蛛走る 青木順子

 大いなる切株の灼け天守跡 村上鞆彦

〇 鎌倉の目高の裔か虚子の甕 坂東文子

 秋澤夏斗

 東京の首のあたりの熱帯夜 塩川　正

 夏蝶は黄なり庵を去りがたく 坂東文子

 片陰ゆく烏揚羽の如き娘が 筑紫磐井

 炎天の坂に坂継ぐ小諸かな 塩川　正

〇 大いなる切株の灼け天守跡 村上鞆彦

 青木順子

 片蔭に風の図鑑を開きをり 苫野とまや

 炎天の坂に坂継ぐ小諸かな 塩川　正

 片陰ゆく烏揚羽の如き娘が 筑紫磐井

 鎌倉の目高の裔か虚子の甕 坂東文子

〇 片蔭を選りつつ父の乳母車 秋澤夏斗

 苫野とまや

〇 大いなる切株の灼け天守跡 村上鞆彦

 馘塚に触るる諸手の大暑かな 河西瓢一

 昼寝人本を片手に持ちしまま 中村哲乎

 朝涼や虚子の仮寓の手水鉢 河西瓢一

 片陰にするりと入りし小諸そば 筑紫磐井

 中村みき子

 雨来るぞ早く帰れと枝蛙 中村哲乎

 片蔭や山並に雲立ちわたり 村上鞆彦

〇 炎天の坂に坂継ぐ小諸かな 塩川　正

 山裾に昇る太陽町涼し 原田淳子

 外に出でて羊歯のまぶしき氷室かな 秋澤夏斗

 中村哲乎

 杖の行く小さき片蔭紅茶の香 苫野とまや

 馘塚に触るる諸手の大暑かな 河西瓢一

 旱星牛のよだれの滞り 青木順子

 噴煙と見間違ふかな夏の雲 原田淳子

〇 外に出でて羊歯のまぶしき氷室かな 秋澤夏斗

 河西瓢一

 餌はあるか砂粒ほどの蜘蛛走る 青木順子

 外に出でて羊歯のまぶしき氷室かな 秋澤夏斗

 味噌樽の割られオブジェに夏の月 秋澤夏斗

〇 片蔭やほんとは私雨をんな 中村みき子

 片蔭や骨董店に時計鳴り 村上鞆彦

 坂東文子

 くつろいで涼しき風の虚子旧居 原田淳子

 大いなる切株の灼け天守跡 村上鞆彦

〇 日盛や有平棒のかたかたと 村上鞆彦

 森ぢゆうの神御座します氷室かな 秋澤夏斗

 外に出でて羊歯のまぶしき氷室かな 秋澤夏斗

 原田淳子

 昼食や冷やしなすびの丸かじり 坂東文子

 片蔭を選りつつ父の乳母車 秋澤夏斗

 夏蝶は黄なり庵を去りがたく 坂東文子

 夜の秋や花屋の隅の喫茶室 河西瓢一

〇 森ぢゆうの神御座します氷室かな 秋澤夏斗